

鴨立庵だより

鴨立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場です。初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているのでござるよ。



鴨立庵大使「えんいくん」
※俗名は佐藤義清(のりきよ)。
出家して法号は円位、後に西行。



上) 鴨立庵外観
下) 花の会



◆ 今月の俳句 ◆

朝練が楽しくなった冬の朝

大磯町立国府中学校 飯島 辰徳

◇ 今月の短歌 ◇

赤トンボ 何かを避けるように飛ぶ

岐阜県立飛騨神岡高等学校 井上 実咲

(評) 季節の言葉は「冬の朝」。学校に行く、同じ時間なのに、入学した「春」、学校になれてきた「夏」、親友ができた「秋」。そして寒くて「フトン」を出るのもつらい「冬」と、みんな違います。そして「部活」によつては、朝、授業の始まる前に、皆で集まって練習することもあります。それが「朝練」。夏や秋の「朝練」は「早起き」さえすれば何でもないので、「冬の朝練」は「寒さ」が難敵です。「朝練」なんて無ければ良いのにと毎朝思います。でもある時、「おお」と「朝練」を楽しく思えることがあったのです。

(鴨立庵庵主 本井 英)

(評) トンボは一直線に飛んでいたかと思つと、不意に直角に曲がつて、再び直線飛行に戻るといふことが珍しくありません。作者は、その動きを、「何かを避ける」行動だと歌います。「何か」は、判然としません。しかし、黄昏の道には、はつきりと目には捉えられない「影」がゆらめいている、と作者は感じます。この世界に漠然とした不安を感じさせる、繊細な美意識が描いたシュールレアリスティックな作品です。

(西行祭選者 柳 宣宏)

第六十六回

大磯西行祭 募集要項

■ 献詠俳句

【題】 雑詠二句まで(未発表の作品に限る)

■ 部門

一般の部、小学生の部、中学生の部、高校生の部

■ 献詠短歌

【題】 自由二首まで(未発表の作品に限る)

■ 部門

一般の部、小・中学生の部、高校生の部

■ 献詠俳句・短歌共通

【募集期間】 10月1日(土)から12月18日(日)まで(必着)

■ 応募方法

所定の応募用紙または原稿用紙に楷書で作品(カナ)、住所、氏名または雅号(ふりがな付記)、電話番号を必ず記入のこと。

電子投稿 鴨立庵ホームページ内

「西行祭献詠俳句・短歌募集ページ」より

■ 応募先

〒2550003

大磯町大磯1289

鴨立庵西行祭献詠俳句・短歌募集係

講座の申込み・問合せ 鴨立庵 ☎(61)6926 定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
連句勉強会	11月6日(日)	10:00~正午	連句づくりを楽しもう! 5期生募集中 講師: 本井 英氏(鴨立庵庵主) 定15人 費2,000円(入庵料込)
座 禅	11月19日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講師: 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
寄 席	11月26日(土)	開場 13:00 開演 13:30	「鴨立庵スペシャル」 落語: 桂 三十助* 新内流し: 鶴賀喜代寿郎 紙切り: かみきりや 新内「吉田茂」弾き語り: 鶴賀喜代寿郎 定15人 費2,000円(入庵料込)
俳句入門講座	11月27日(日)	10:00~12:30	俳句を詠めるって素晴らしい! 講師: 本井 英氏(鴨立庵庵主) 定15人 費2,000円(入庵料込) ※12月にも開催予定
伝 筆	11月27日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講師: 認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対象: 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費・入庵料込)
花の会	11月30日(水)	14:00~16:00	クリスマスプレゼントにもなるお洒落なボックスアレンジ 講師: 府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
絨毯展示販売	11月30日(水)~ 12月4日(日)	10:00~16:00	遊牧民のキリム&部族絨毯展示 費入庵料
茶と遊ぶ	12月3日(土)	10:00~正午	みちかぜ茶会~誰でも気軽にお越しいただけるお茶会~ 講師: 高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)